

国家のために祈る時

〈オーブンセミナー講演抜粋〉

C B M C 理事長

杉 浩一

的に覚醒させられた
思いがしました。
韓国のクリスチャン
達三、四百名が教
派の壁など無く、た

日本CBMC(キリスト者実業人
会)主催で国家晩餐祈祷会が始ま
り、今年で十回を数えます。当初、
スタートに当たって参加を呼びかけ
た時、思わぬ反応があり戸惑いま
した。何故「国家」なのかと。国家
という言葉に私は反感を覚える、
その名前が悪い、その名称では参加
できないと。「国家」や「民族」とい
う言葉にこれ程アレルギーがある
のだと改めて知らされました。

私自身、この働きを始める十年
前迄は、国のことなど全く無関心
な者でした。二十七歳で受洗し、そ
の後教会学校教師と役員として
教会に熱心に仕えました。又、VI
Pや朝祷会、ギデオンの協会の働きに
も参与し、「神の国と神の義をま
ず第二に求めなさい」との御言葉を
実践しているつもりでした。しかし、
この国家晩餐祈祷会に携わり始め
て、私は、実は自分の義と自分の会
社の利益のみを求めていたことに
気付かされたのです。

それは、韓国で行われている「国
家朝餐祈祷会」に誘われて初めて
出席した時のことです。その規模
の大きさと、熱心な祈りに度肝を
抜かれ、私は強いショックを受け、霊

だ二つとなつて国の為に心合わせて
祈っているのです。その上、教会規
模の大きさは勿論、新聞社やテレ
ビジョンがある、また音楽性の高さなど、
政治、経済、文化にキリスト教が大
きく関わっていることを目の当たり
にし、韓国のキリスト教のレベルの
高さに目を見張りました。日本も
こうありたいとの願いと決意が起
こされた時でした。ちなみにCBMC
の会員数も、日本が三百名なの
に比して、韓国は三千名を擁し、世
界最大です。

この韓国のキリスト教の力強さ
に触れ、日本のクリスチャンも自分
の教団教派や自分の教会の為だけ
に祈っているといけない、自分の為だ
けのキリスト教であつてはいけない、
もつと広い視野で日本を変える為
に教団教派を超えてキリスト教会
が立ち上がり、祈りを合わせてい
かなければならない。その為に、こ
のような国家の為に祈る働きが日
本でも今こそ求められているのだと、
この四百名の「国家朝餐祈祷会」に
参加してつくづくと思わされ、自
分の狭さに、心から悔い改めさせら
れたのでした。

日本でも十年前、第一回国家朝

餐祈祷会を、都ホテルにて関西の
先生方の協力を得て開催。その後
ミミ朝餐祈祷会を大阪で開催、手
東師や土肥師に御奉仕いただきま
した。その後、二回目から東京に移
し開催したのですが、関西とは勝
手が違い、東京の広さを実感させ
られて大変苦労をしたものです。

日本は何故百五十年間、2%の壁
を敗れないのか、その理由を祈りつ
つ思い巡らす内に、伝道についての
戦略をもつことの重要性に気付か
されました。未信者に焦点を当て
る。未信者の視点に立ち、未信者を変
えること。それも特にリーダー的
存在の人に照準を合わせる戦略が
必要なのではないかと思ひます。い
くら聖書が良い書物だと分かつて
も、処女降誕が信じられない、十字
架が分からない、ましてキリストが
蘇ったことなどついていけないとい
う人々が実に多いのです。故に真正
面から福音を語っても通じないの
です。そのことを思う時、未信者の
目からうろこを落とす、いわゆる大
迫害者から使徒に転換したあのパ
ウロを造り出す戦略を展開してい
く必要があります。

今、私は日本の国の中に隠され
ているキリスト教の痕跡を発掘し
ていく研究を進めています。古代
日本(紀元二世紀頃)には原始キリ
スト教が渡来していたということの
証拠が数多く発見されてきてい

のです。こういう日本人としての当
然の文化・習慣から切り込んでい
くと、未信者は福音に對して違和
感が拭われ、聞く耳が生まれて伝
道が進み、キリスト教に對する敷
居が低くなるとういうことを私は何
度も体験しました。

その二つの大発見として、正月三
が日に必ず飲む「お屠蘇(おとそ)」
があります。漢字から分かるよう
に、「屠」はほふる、即ち家畜を殺す
こと、「蘇」はよみがえる、即ち死ん
だ者が生きかえることなのです。
そしてこれは、いわゆる「聖餐式」を
表し、日本人は知らずに正月三が
日には聖餐式ををしているのです。
この話をしながら、「死んで三日目
に蘇った神様の名前を知っています
か」と聞くと、ほとんどの人はイエ
ス・キリストだと答えます。こうし
て、未信者が何の抵抗もなくキリ
スト教に心を開いていくという体
験を私は何度もしました。他にも
こういう事例は数多く、日本の風
土・文化・習慣の中に残されており、
こういった内容から伝道を進めてい
くならば、目からうろこのパウロを
造り出す大いに有効な戦略となり
得るのです。

国家の為に祈り、又クリスチャン
達が知恵をもつて謙遜になつて伝
道を進めていく時、神様は働かれて、
必ず日本は変わると思ひます。